

## 成果発表プログラム

氏名	学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
野村 怜佳	D3 (2015年度)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 工学研究科・土木工学専攻
テーマ	5年間を振り返って	
1	<p><b>【発表内容】</b></p> <p>リーディングプログラム院生として活動した5年間、G-Safetyプログラムの支援によって経験することのできた活動やイベントを振り返り、これが自身の研究活動にどのように影響を与えていったか報告する。</p>	
宮本 尚也	D3 (2015年度)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 薬学研究科・分子薬科学専攻
テーマ	シクロパラフェニレンの新規合成法の開発およびアコクレアリンの合成研究	
2	<p><b>【発表内容】</b></p> <p>エポキシアントラセンの骨格が有する内角に着目し、プログラム内インターンシップにおいて、シクロパラフェニレンの新規な合成法を開発した。また、アコクレアリンの合成を企画して、海外インターンシップを通じて右部構造の構築法を確立した。これについても合成の詳細を発表する。</p>	
関 亜美	D3 (2016年度)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 環境科学研究科・先進社会環境学専攻
テーマ	安全安心な社会構築に向けて ～東日本大震災の教訓を元に～	
3	<p><b>【発表内容】</b></p> <p>リーディングプログラム(グローバル安全学)に入学し、様々な分野や国籍の学生と共に東日本大震災の教訓を元に災害について学んだ。講義やC-Lab研修、自主企画研修を通して、「安全安心な社会構築」に向け、発表者が小さなことでも貢献したい想いで取り組んだ活動と成果を発表する。</p>	

2019.09.20

氏名	学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
4	上田 隆統志	D3 (2015年度) マルチディメンジョン物質工学リーダー養成プログラム 工学研究科・材料システム工学専攻
	テーマ	Au 添加 TiO <sub>2</sub> 膜作製による Ti 基板の可視光誘起抗菌機能化
	【発表内容】	Ti 製歯科用インプラントは優れた治療効果を有する一方で、埋入後に表面に付着した細菌による高い感染症リスクを有する。Ti 表面への可視光誘起抗菌活性 TiO <sub>2</sub> 膜作製は光照射による殺菌を実現し、感染症リスク低減に資すると考えられる。Au 添加 TiO <sub>2</sub> 膜作製による Ti 基板の抗菌機能化に向けた取り組みについて発表する。
5	栗田 陽子	D3 (2015年度) グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 文学研究科・人間科学専攻
	テーマ	グローバル安全学での経験と発見
	【発表内容】	本発表では、報告者が本プログラムにおいて経験したことを簡単に振り返りながら、この 5 年間で何を考え、それがどのように自分の学生生活に影響したかを述べる。特に、いわゆる「理系」の学生が多い中で、「文系」の学生として過ごす中で感じたことを共有したい。
6	門脇 万里子	D2 (2016年度) マルチディメンジョン物質工学リーダー養成プログラム 工学研究科・知能デバイス材料学専攻
	テーマ	インターンシップで行った活動について
	【発表内容】	鉄鋼材料の金属組織は、その腐食挙動に大きな影響をあたえることが知られている。MD プログラムで行った三種類のインターンシップ(日本製鉄株式会社、物質・材料研究機構、オハイオ州立大学)での活動が、鉄鋼材料の腐食挙動の解明という自分の研究活動にどのような影響を与えたのかについて発表する。